

マツダエース健康経営方針

健康経営最高責任者

小田 佳郎

1. 基本方針

当社は、従業員の健康が企業の持続的発展の基盤と考えます。当社の経営理念は「信頼されるサービスと商品を提供し、お客様と地域社会に貢献する総合サービス企業をめざす」であり、従業員の健康こそが、信頼されるサービスと商品を提供できる源であり、お客様と地域社会に貢献するための力となります。よって、当社は従業員の心身の健康を支援し、働きやすい職場環境を整えることに努めます。

2. 目標

1) 従業員の健康リテラシー向上: 従業員が自身の健康を適切に管理できるよう、健康教育や研修を通じて健康リテラシーの向上を図ります。これにより、従業員一人ひとりが信頼されるサービスと商品を提供できる基盤を強化します。

2) 職場環境の整備と安全管理: 職場の安全性と快適性を確保するため、労働時間の適正管理や作業環境の改善に努めます。従業員が安心して働ける環境を提供することで、お客様と地域社会に対する貢献の質を高めます。

3) メンタルヘルスのサポート強化: メンタルヘルスは高品質なサービス提供に不可欠であるため、従業員のストレスを軽減するためのプログラムやカウンセリングサービスを充実させます。定期的なストレスチェックの実施とフォローアップにより、従業員の心の健康を守ります。

4) 健康診断の実施とフォローアップ: 定期健康診断の充実とフォローアップ体制の強化により、従業員の健康を積極的に管理し、疾病予防を図ります。健康で働ける環境を整えることで、お客様や地域社会への信頼を築きます。

5) ワークライフバランスの推進: 従業員が仕事と生活を両立し、充実した生活を送れるよう、ワークライフバランスの推進に力を入れます。これにより、従業員の満足度を高め、より良いサービスと商品の提供に繋がります。

3. 実施体制

経営層を中心とした健康経営推進委員会を設置し、各部署が一体となって施策を実施します。定期的な評価と改善を行い、従業員の健康状態や職場環境の変化に迅速に対応します。

4. 責任と透明性

当社は、健康経営の取り組みを外部に対しても透明性を持って開示し、地域社会や顧客からの信頼をさらに高めます。また、従業員の意見を積極的に取り入れ、継続的な改善を図ります。